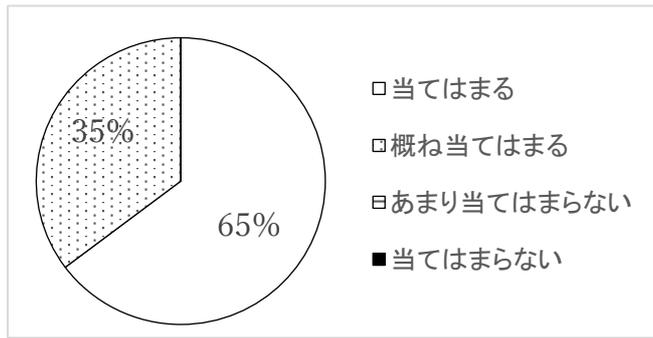
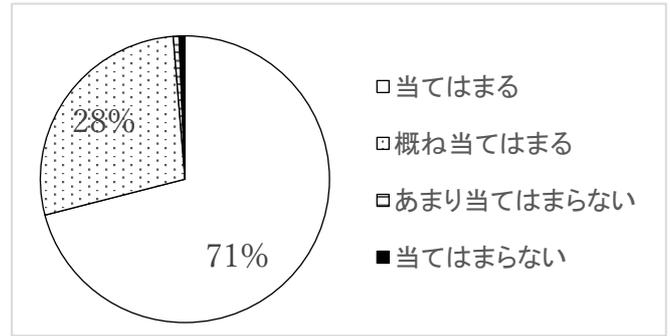


1. 分科会は課題解決に向けて参考になるものでしたか？



2. ブレイクアウトルームでの協議は有意義でしたか？



《分科会についてのご意見・ご感想》 ●課題

○コロナ禍にあっても全国の副校長先生、教頭先生方とつながることができた貴重な大会でした。これからの研修の在り方について考える場にもなりました。分科会で学んだ組織力の大切さを明日からの学校運営にどう生かしていくか、この夏のテーマとして自らに問う機会としたいと思います。運営、準備に携わっていただいた多くの皆様に感謝申し上げます。

○塩野谷先生、藤田先生のお二方の取り組みに共通していたことは「汎用性」であると感じました。「いつでも」「どこでも」「誰でも」というキーワードは、子どもたちに安定して力を身に付けさせることができると同時に、教師の人材育成にも有効な手立てであると思います。今後の実践に生かしていきたいです。また、全国の先生方と話し合えたことも大変貴重な経験でした。それぞれの県、地域によって現状は様々であることを知ると同時に、不易なものもあることを改めて確認することができました。

○午前に伺った、教頭会作成による冊子を活用した授業力向上の取り組み。午後に伺った、汎用性と独自性がスパイラルに絡み、高まる取組。どちらも、地区の実態や課題に基づき、その解決のために大変有効な、継続的、計画的なものだと驚かされました。ブレイクアウトルームでの協議、情報交換も大変有意義でした。コロナ禍での行事等の縮小、これを機会とした今までの取組の見直し等、遠く離れた地域でも同じように行われていることがわかり、心強かったです。運営の皆様、有り難うございました。

○全国の教頭先生の実践が聞けて、大変勉強になりました。様々な方法や取り組みがありましたが、複雑で今後の展開を予測することが困難な現代であるからこそ、子供たちには、社会の創り手となれるような、たくましく生きる力を育てていくという点で一致していたと思います。教頭としてやらなければならない事が多くありますが、目の前の子供たちのために、これからの子供たちを育てていく教職員を育てていくために、自分自身の日々の努力の必要性を改めて感じる事ができました。教職員個々の力量を高めること、地域との連携を大切にしながら組織力を高めることを今後も大切にしていきます。

○全国の副校長先生・教頭先生方と意見交換する機会はないかなかなかないことです。私自身教頭職2年目で自校のことで精一杯のところがあります。しかし、このような貴重な機会を得た中で神戸市中学校教頭会の代表として研鑽が足りないことを痛感しました。とても良い刺激になりました。来年度、岩手大会が行われた際には神戸市の取り組みをしっかり発信できるよう教頭としての能力を高めていく覚悟です。オンライン開催素晴らしかったです。

○ブレイクアウトルームは、人数的にもちょうどよく、各地のいろいろな規模の先生方のお話が聞けてとてもよかったです。教育課程編成についても考えを深めることができました。情報の収集の大切さを改めて感じました。分科会での指導助言もとてもわかりやすく、これからやってみようと思うヒントをたくさんいただきました。今回の学びを自校だけではなく、教頭会で報告し、広めていきたいです。

○提言者の教頭先生の内容は大変参考になるものでした。本市では実践できていないことであつたので、今後の課題とさせていただきたいと感じております。また、ブレイクアウトルームの協議は、各市町村の独自の取組についてお話を伺い、改めて「地域・学校の強みをいかに生かしていくのか」「教員一人ひとりがいかに組織の一員として自覚し動くのか」等について考えさせられました。教頭として教員が誇りをもって動ける組織にしたいと感じています。最後に、指導助言の中家先生のお言葉に大変感銘を受けました。

●時間がもっとあっても良かったかなと感じる。研究課題に対する話し合いの他、もっともっと違う話題をざっくばらんに話せる機会が欲しかった。やはり、オンラインの限界なのか、みんなが集まって普通に話せることがいかに有り難いことなのかを改めて実感した。

●提言者への質問ができなかったので、疑問を持ちながらの分科会でした。また、提言者のパワーポイント資料も手元があれば、意見交流にも役立つと感じました。

●協議の柱が抽象的であったため、もう少し課題や悩みを絞れると、明日からの実践に生かせると思った。